

平成 17 年度

決 算 報 告 書

第 2 期事業年度

自 平成 17 年 4 月 1 日

至 平成 18 年 3 月 31 日

国立大学法人 群 馬 大 学

平成 17 年度 決 算 報 告 書

国立大学法人 群馬大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,866	12,866	-	
施設整備費補助金	1,192	1,194	2	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	1,087	3,261	2,174	(注2)
補助金等収入	-	115	115	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	52	52	-	
自己収入	19,275	20,467	1,192	
授業料、入学金及び検定料収入	4,021	4,003	17	(注4)
附属病院収入	15,173	16,268	1,095	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	81	195	114	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,600	1,499	101	(注7)
長期借入金収入	2,855	2,853	1	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	39	39	(注9)
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	64	64	(注10)
計	38,927	42,409	3,483	
支出				
業務費	24,083	24,604	520	(注11)
教育研究経費	9,473	8,769	703	
診療経費	14,610	15,835	1,224	
一般管理費	5,021	4,753	268	(注12)
施設整備費	4,099	4,099	1	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	115	115	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,600	1,460	141	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	4,124	6,277	2,153	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	38,927	41,307	2,380	
収入 - 支出	-	1,103	1,103	

各欄と合計欄の数字は、単位未満四捨五入の関係で一致しないことがある。

**予算と決算の差異について**

- (注1) 補正予算アスベスト対策経費の措置により、予算金額に比して2百万円(調査費)の増額となっています。
- (注2) 補正予算において繰り上げ償還経費が措置されたことにより、予算額に比して2,174百万円の増額となっています。
- (注3) 予算段階では計上していなかった法人補助金を計上したことにより、115百万円の増額となっています。
- (注4) 予算段階では予定していなかった休学者・退学者による授業料の減少等により、17百万円の減額となっています。
- (注5) 経営ワーキンググループを立ち上げての増収努力により、予算額に比して1,095百万円の増額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった競争的資金の間接経費、特許出願支援経費等の増収により、予算額に比して114百万円の増額となっています。
- (注7) 受託研究・事業受入額の減少等の理由により、予算額に比して合計101百万円の減少となっています。
- (注8) 借入対象事業の契約時差金により、1百万円の減額となっています。
- (注9) 予算段階では計上していなかった承継剰余金を計上したことにより、39百万円の増額となっています。
- (注10) 予算段階では計上していなかった目的積立金取崩額を計上したことにより、64百万円の増額となっています。
- (注11) 人件費支出の抑制等節減、増収に伴う診療経費の増額により、予算額に比して合計520百万円の増額となっています。
- (注12) 人件費支出の抑制等により、予算額に比して268百万円の減額となっています。
- (注13) 注1及び注8に示した理由により、予算額に比して1百万円の増額となっています。
- (注14) 注3に示した理由により、予算額に比して115百万円の増額となっています。
- (注15) 注7に示した理由等により、予算額に比して141百万円の減額となっています。
- (注16) 注2に示した理由等により、予算額に比して2,153百万円の増額となっています。

**決算額と損益計算書上の計上額との差異について**

教育研究経費、診療経費、一般管理費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、人件費に関わる支出であります。